

つなげよう!
まもろう! あomorいのかわとみち



青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

[ご意見は
こちらまで](#)

平成20年 1月16日(水) 第17号

青森河川国道事務所の成人(?)たち

今年の成人の日は1月14日でした。青森河川国道事務所にもめでたく成人の日を迎えたものが存在します。今号では、そんな当事務所の成人たちを紹介したいと思います。

河川関連では、第7次治水事業5箇年計画が策定された初年度から、また、岩木川の鶴田地区の河川公園に階段工が整備されてから20年になりました。このころから、河川の利用形態が変化し始め、本来の治水・利水機能を確保しつつ、河川公園や運動場などのレクリエーションの場や、地震や火災時の避難地として利用される河川環境整備が積極的に進められるようになってきました。

道路関連では、国道4号十和田バイパスの十和田市三本木国道45号交差点～十和田市洞内までの7.3km区間、国道7号鶴ヶ坂バイパスの青森市浪岡大字大釈迦～青森市大字戸門までの5.6km区間、青森キャブシステム(電線の地中化)の県庁前～平和公園通りまでの2.5km区間、などが開通してから20年です。

ここでは、当事務所が行ってきた事業の中から主立ったものばかり紹介しましたが、その他、昭和37年に直轄事業着手した海岸事業の関連では、蓬田村の一部地区での船着場と堤防の完成、蟹田町と平館村(共に現外ヶ浜町)の一部地区での護岸や堤防の完成、弘前市向外瀬に桜つつみモデル事業が認定され、浪岡バイパスの一部が完成したのも同じ頃でした。

青森県内でみると、青森空港がプロペラ機専用空港からジェット化され現在の形になり、青函連絡船は廃止され、津軽海峡線が開業するなどのできごとがありました。

冬の暮らしの中で
大変(XOX) 困った(VDV) 危ない!(>▽<) うんざり…(一一)
そんな経験ありませんか?

あなたが遭遇した日常の場面を
作品にしてください!!

詳しくは[こちら](#)



青森河川国道事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>